

閉会の言葉           伊賀 真美 副会長

長時間にわたる審議および研修に感謝申し上げます。雪の少ないここ帯広市では、積雪がほとんどない状態で師走を迎えているが、広い北海道、今日も大雪や暴風を心配しながら参加していただいた地域もあることと思う。

さて、道小の活動も、本日、各部の中間報告や旭川大会のまとめを受け、次年度を見通すことができた。先日、森田事務局長から送付された次期教育振興基本計画のたたき台からは、教育を通して子どもたちの幸福感や自己肯定感を高めることが、これからの学校に求められていることを感じた。また、生徒指導提要では子どもの権利が大きくクローズアップされていた。本日の理事研修会で審議した一つ一つが「北海道に生きる子どもの幸せ」につながっていくことを確信しながら、参加させていただいたところである。

今年の冬至は12月22日で、1週間後となる。冬の本番はこれからであるが、この日から日が長くなると思うと明るい気持ちとなる。春遠からじである。皆様のこの1年の活躍に感謝し、新しい年に思いを馳せながら、第4回理事研修会の閉会の言葉とさせていただきます。